



広報

いながわ

第668号

2月15日

平成16年
(2004年)

毎月1日・15日発行

編集・発行 猪名川町 企画部 広報コミュニティ課

〒666-0202 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑1-1 電話番号 072 (766) 8707 ファックス番号 072 (767) 2255
ホームページアドレス (URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

町域の中央を南北に縦断する『猪名川』は、大野山を源流として、昔から人々の生活を支えとともに、潤いや安らぎを与えてくれる大切な川です。国の特別天然記念物であるオオサンショウウオが生息し、また初夏になると、ホタルが水面を乱舞する様子も見られます。このような美しい自然を失わないためにも、みんなで猪名川をいつくしみ、猪名川の保護に取り組んでいきましょう。

清流への取り組み



昨年8月のラブリバーINAGAWAで北田原地域の猪名川を清掃する参加者達
木津地域の河川で一定の水量が流れるように、井堰の板を試験的にはずしています



みんなの手で 心やすらぐ猪名川を

子ども達が安全に安心して楽しく遊べる川、きれいな水が流れ自然を楽しむことのできる川、せせらぎを聞き心が安らぐ川、そのような清流猪名川にしたいと、昨年1月に「清流猪名川を取り戻そう町民運動 基本構想」を策定しました。現在、住民の皆さんとともに、住民と行政が一体となった取り組みを進めています。

- 基本構想では、**森林の豊かな自然を守り育てる**
 - 水資源を活用する**
 - 河川に親しむ**
- の3つを達成目標として、「水の循環型活用と水量確保」「河川環境の改善」「川との関わり方の再構築」の3分野に分け、推進する内容を定めています。平成15年度は、河川愛護活動など、次に紹介する5つの

施策に取り組んできました。それらの取り組み状況をお知らせするとともに、今後も住民の皆さんの協力を得て、さらに美しい川を目指していきたいと考えています。ぜひイベントや施策への参加をお願います。

「清流猪名川を取り戻そう町民運動」に関する問い合わせは、企画政策課（766・8711）へ。

森林の豊かな自然を守り育てる

清流パトロールの強化

本町の山間部や河川では、多くの不法投棄が見受けられ、環境破壊、水質汚染の大きな要因となります。これまでも不法投棄を防止するため、パトロールを実施してきましたが、平成15年度からは、さらにパトロールを強化し、職員で対応できる廃棄物については、その場で撤去するように努めてきました。

昨年4月から12月までの不法投棄によるごみの収集量は表のとおりです。今後こうした取り組みを継続していきます。

実施月	収集量
4月	700kg
5月	530kg
6月	1,610kg
7月	720kg
8月	550kg
9月	680kg
10月	450kg
11月	820kg
12月	1,290kg
合計	7,350kg

河川愛護活動

自治会や各種団体で、自主的に河川の清掃活動をしていただくため、草刈機や鎌などを貸し

出ず制度を設けました。

昨年9月には、島自治会において、こうした機材を利用して猪名川の上流部600mにわたり河川清掃が行われました。また、恒例のラブリバーINAGAWAが、8月に開催され、約500人の手により、北田原地域で130 のごみが回収されました。さらに木津地域では、用水として必要のない時期に、井堰の板を取りはずすことにより、河川に一定の水量が流れ、土砂の堆積の防止に役立つものか試験的に取り組んでいます。

このように、少しずつ地域の中で、河川愛護への取り組みが広がっています。

水資源を活用する

貯留施設の設置を助成

各家庭において雨水を有効に利用してもらうため、平成15年度から貯留施設の設置への助成を行っています。設置家庭では、100 以上の貯留タンクを雨どいに接続し、庭木などへの散水に利用していただいています。設置助成として、個人住宅に設置する場合に雨どい取付型は3万5000円、浄化槽取付型は10万円を上限とし、購入費、設置費に対して、3分の2を助成しています。

昨年12月末までに、雨どい取付型が19件、浄化槽取付型が2件の合計21件に対して助成を行いました。

雨水浸透施設の設置モニターを募集

雨水は、道路側溝、水路から河川に流れています。このことから、降雨時にはいつ

ふるさとバス参加者募集

町内在住の皆さんに、町に対する理解を深めていただくため「ふるさとバス」を運行します。今回は、町の特産品である椎茸の栽培作業体験や地酒「花衣」の酒蔵見学などを行います。

とき 3月5日(金)午前9時 町役場正面ロビー集合(雨天決行)

見学場所 クリーンセンター見学～給食センター見学・昼食～地酒「花衣」酒蔵見学～仲しいたけ園見学・作業体験～道の駅いながわ 椎茸の原木または、生椎茸の持ち帰り

参加費 1,600円(保険・昼食代ほか)
募集人数 30人(先着順)

持ち物 お茶、歩きやすい靴と服装
申込み、問い合わせは、2月16日から電話で広報コミュニティ課(766-8707)へ。



原木から次々と生育する椎茸(仲しいたけ園)

河川に親しむ

親水護岸の整備

川と親しめる空間づくりとして、平成14年3月に「大島であい公園」の親水護岸整備を行いました。平成16年7月には、「道の駅いながわ」の裏に県の護岸整備と併せて、親



問い合わせは、上下水道部(766・8703)へ。

水公園が完成します。今後このような親水公園で川とのふれあい、地域コミュニティ活動の場として整備していくこととしています。

問い合わせは、道路河川課(766・8705)へ。